大阪樟蔭女子大学

大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館

美 Beautiful

PRESS RELEASE

2022 年 11 月 2 日／No.28

特別企画展　卒業生　周年イベント

■大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館開館 15 周年記念展「十八歳の日の記録」を初展示■

特別企画展「自伝的作品と習作でたどる田辺聖子の青春」を開催

会期：10 月 24 日（月）～11 月 21 日（月）

大阪樟蔭女子大学（大阪府東大阪市）は、10 月 24 日（月）～11 月 21 日（月）に大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館にて、第 14 回特別企画展「自伝的作品と習作でたどる田辺聖子の青春」を開催しています。

本件のポイント

- 昨年メディア公開された田辺氏の日記「十八歳の日の記録」を初展示し、田辺氏の青春時代を回顧
- 直筆原稿「田辺写真館が見た“昭和”　戦火、熄む」、学生時代のノート『外国文学史』を初公開
- 終戦前後の過酷な学生生活の中で、作家になる夢を見つづけ、夢を叶えた田辺氏の軌跡

■田辺聖子の“夢と青春”を日記や学生時代のノートなどから紐とく

本学では卒業生の田辺聖子さんの数々の文学的偉業を称え、大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館を 2007 年に開館しました。今年開館 15 周年を迎え、記念展として第 14 回特別企画展「自伝的作品と習作でたどる田辺聖子の青春」を 10 月 24 日（月）から開催しています。新資料として昨年メディア公開された田辺氏の日記「十八歳の日の記録」を手掛かりに、本展では「田辺聖子の青春」をテーマに展示。1945 年 4 月～1947 年 3 月まで田辺氏が樟蔭女子専門学校（現 大阪樟蔭女子大学）2 年生～3 年生の卒業までを記録したこの日記からは、終戦前後の過酷な学生生活の中でも田辺氏が作家になる夢を抱き続けていたことがわかります。また、この日記は、昨年『田辺聖子　十八歳の日の記録』（文藝春秋 2021.12）として刊行されましたが、既に 1977 年に刊行された田辺氏の自伝的作品『欲しがりません勝つまでは』（ポプラ社）にも一部引用されており、これまでに田辺氏がライフワークとしてきた“自らが経験した戦争を伝えること”の一つとしても位置づけられるものです。

本展では、初展示となる「十八歳の日の記録」を軸として、田辺氏の自伝的作品と学生時代の習作やノート等を手掛かりに、田辺氏が終戦前後に過ごした学生時代や田辺氏の青春を振りかえり、その後の作家人生の原点を探ります。さらに直筆原稿「田辺写真館が見た“昭和”　戦火、熄む」、学生時代のノート『外国文学史』を初公開します。

田辺氏による直筆原稿

初展示の「十八歳の日の記録」

田辺氏が描いた詩集の表紙

田辺聖子文学館　開館 15 周年記念展

■日時：10 月 24 日（月）～11 月 21 日（月）　9：00～16：30
（休館日：日曜・祝日・大学の休業日）

■場所：大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館（大阪府東大阪市菱屋西 4-2-26）

■入場料：無料

■展示内容：
田辺聖子日記「十八歳の日の記録」（初展示）、直筆原稿「しんこ細工の猿や雉」、
直筆原稿「田辺写真館が見た“昭和”　戦火、熄む」（初公開）、学生時代のノート『外国文学史』（初公開）など 21 点

▼大阪樟蔭女子大学 田辺聖子文学館ウェブサイト
https://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp/events/20221013.php

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材・掲載のご検討をよろしくお願い申し上げます。

＜本リリースに関するお問合せ先＞　学校法人樟蔭学園　学園広報課（担当：梶田・井上）
TEL: 06-6723-8152（直通）（平日 9 時～17 時）　FAX:06-6723-8263
E-mail: gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp

大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館開館15周年記念展示第3弾
第14回特別企画展

田辺聖子の青春

自伝的作品と習作でたどる

―若き日は過ぎ去り易い―
けれども多彩であり、豊なる収穫がある。
それ故に、〝若き日〟は尊い。
『田辺聖子 十八歳の日の記録』

田辺聖子直筆資料『十八歳の日の記録』表紙
写真提供：株式会社文藝春秋

田辺聖子自作詩集『夢』（1945年頃）

2021年6月に
初めて存在が明らかになった
話題の終戦前後の日記
田辺聖子直筆資料
『十八歳の日の記録』
初展示

大阪樟蔭女子大学
田辺聖子文学館

会　　期　2022年10月24日（月）～11月21日（月）
開館時間　9:00～16:30
休 館 日　日曜・祝日・大学の休業日
入 館 料　無　料
会　　場　大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館
〒577-8550
東大阪市菱屋西4-2-26 大阪樟蔭女子大学図書館内

大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館開館15周年記念展示第3弾
第14回特別企画展

【会期】 2022年10月24日(月)～11月21日(月)

田辺聖子の青春

自伝的作品と習作でたどる

2021年に新資料としてメディア公開され、『田辺聖子　十八歳の日の記録』(文藝春秋2021)として刊行された田辺聖子の日記「十八歳の日の記録」をてがかりに、「田辺聖子の青春」をテーマとした展示をいたします。

1945年4月から1947年3月まで――田辺聖子が樟蔭女子専門学校(現大阪樟蔭女子大学)2年生から3年生の卒業まで――を記録したこの日記からは、終戦前後の過酷な学生生活のなかでも田辺聖子が作家になる夢を抱き続けていたことがわかります。

本展では、「十八歳の日の記録」を軸として、田辺聖子の自伝的作品と学生時代の習作やノート等を手がかりに、田辺聖子が終戦前後に過ごした学生時代――田辺聖子の青春――を振り返り、その後の作家人生の原点を探ります。

みなさまのご来館をお待ちしております。

【展示資料】 ＊初展示資料

〈学生時代の資料〉

＊日記「十八歳の日の記録」

ノート『日本著名漢詩集　文学史研究論文(附)　その一』

＊ノート『外国文学史』

作文「私の夢」

詩集『夢』

〈自伝的作品〉

＊直筆原稿「田辺写真館が見た“昭和”　戦火、熄む」

直筆原稿「しんこ細工の猿や雉」

ほか

ご来館のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、次の条件を徹底したうえでご利用ください。

- 不織布マスク着用や咳エチケット等の基本的な感染予防対策を徹底してください。
- 入口にてアルコール消毒(手指消毒)にご協力ください。
- 他の来館者との間隔を保ってご見学ください。
- 館内での会話はなるべくお控えください。

皆様に安心してご観覧いただけますよう、ご協力をお願いいたします。

大阪樟蔭女子大学
田辺聖子文学館

所在地　〒577-8550　東大阪市菱屋西4-2-26
大阪樟蔭女子大学 図書館内

●近鉄奈良線「河内小阪」駅下車 西へ徒歩4分(約300m)
●JRおおさか東線「JR河内永和」駅下車 東へ徒歩5分(約400m)

開館時間　9:00～16:30
休館日　日曜・祝日・大学の休業日
入館料　無料

お問い合せ　Fax 06-6723-8387
E-mail bungakukan@osaka-shoin.ac.jp
URL http://bungakukan.osaka-shoin.ac.jp

大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館　開館15周年記念展示第3弾
第14回特別企画展
「自伝的作品と習作でたどる 田辺聖子の青春」

【展示資料】

＊太字は田辺聖子直筆資料

田辺聖子の日記

田辺聖子没後の2020年11月、自宅整理中に発見された終戦前後（17～18歳）の日記。
今年8月15日に放送されたドラマ「セイコグラム」（NHK総合テレビ全国放送）のベースになった。

日記「十八歳の日の記録」（1945.4～47.3）　＊初展示
『田辺聖子　十八歳の日の記録』（文藝春秋2021）

樟蔭女子専門学校での学生生活

日記が書かれた終戦前後の時期は、田辺聖子が樟蔭女子専門学校に在学した時代。
当時の樟蔭女子専門学校を垣間見る。

樟蔭絵葉書セット
樟蔭女子専門学校　卒業アルバム（1947.3）
伊賀駒吉郎『デモクラシートハ何ゾヤ』（樟蔭女子専門学校 樟蔭高等女学校 1947）
田辺聖子「樟蔭女専の思い出」（『大阪春秋』12号1976.12）
パネル「樟女専發三四七號　故伊賀校長ノ学園葬ニ関スル御願」
（伊賀校長学園葬関係資料）

学生時代の習作

日記に作品タイトルが登場する田辺聖子樟蔭女子専門学校時代の習作の数々。
過酷な時代のなかでも、作家になる夢を諦めることはなかった。

直筆原稿「十七のころ」（1946～47）
自作小説『北京の秋の物語』中・下（1944）
自作詩集『夢』（1944～45か）
『最後の一人まで』（1944）
『エスガイの子』
参考資料；尾崎士郎『成吉思汗』（新潮社1940）

学生時代のノート等に見る学び

戦時下の学生として、樟蔭女子専門学校で懸命に学び続けた田辺聖子。
空襲によって自宅が焼失したなかで奇跡的に残されたノートや教科書から学びの様子をみる。

ノート**『日本著名漢詩集　文学史研究論文（附）　その一』**（1944～45）
教科書『十八史略新鈔　新制版　全』（中等学校教科書株式会社1941）
ノート**『外国文学史』**（1945か）　＊初公開
作文「私の夢」（1944～45）

自伝的作品

日記「十八歳の日の記録」に書き残した時代のことを、後年振り返って書いた自伝的作品のかずかず。
自ら経験した戦争を次世代に語り継ぐことは、田辺聖子のライフワークの一つでもあった。

直筆原稿「しんこ細工の猿や雉」
「われら御楯」初出誌（『文學界』第19巻9号1965.9）
『私の大阪八景』改版文庫本（角川文庫2017）
『欲しがりません勝つまでは』初版本（ポプラ社1977）
直筆原稿「田辺写真館が見た“昭和”　戦火、熄む」　＊初公開
同初出誌（『文藝春秋』2004.10）